



議会だより

No.214

令和3年4月25日



第2回 大野市高校生議会（1月25日開催）

主な内容

3月定例会の概要	2～3
議案等の各議員表決	4
代表・一般質問の概要	5～12
常任委員会審査報告	13・14
特別委員会報告	15
高校生議会	16

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

3月 定例会の概要

第423回定例市議会が3月1日から3月24日までの24日間の会期で開催されました。今回の定例会では、令和3年度の各会計予算案、令和2年度各会計補正予算案、条例の制定・改正・廃止、人事案件などの全60議案のほか、請願1件、陳情1件、議員提出の市会案2件について審議しました。審議結果は、4ページのとおりです。

また、各常任委員会と議会運営委員会の委員の改選と、前委員の辞任に伴う各特別委員会委員の補充を行いました。委員会等の構成は下表のとおりです。

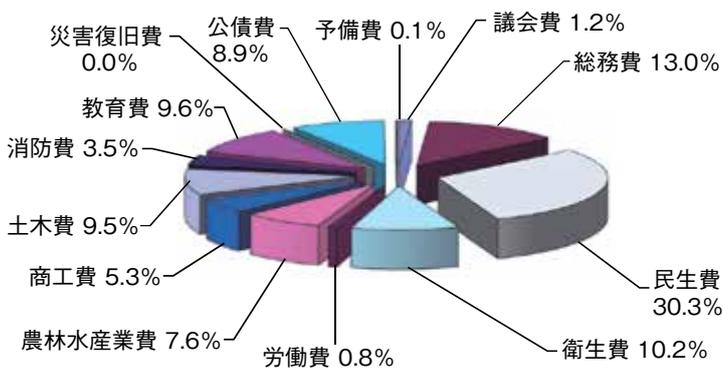
議会運営委員会及び各委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	常任委員会			特別委員会	
	総務文教	産経建設	民生環境	未来へつなぐまちづくり	人口減少対策
◎ 畑中 章男 ○ 永田 正幸 林 順和 伊東由起恵 松田 元栄 榮 正夫	◎ 高岡 和行 ○ 榮 正夫 林 順和 ダニエル益資 梅林 厚子 永田 正幸	◎ 松田 元栄 ○ 伊東由起恵 白崎 貴之 松本 嘉彦 川端 義秀 畑中 章男	◎ 廣田 憲徳 ○ 廣瀬 浩司 木戸屋八代実 堀田 昭一 高田 育昌 野村 勝人	◎ 川端 義秀 ○ 白崎 貴之 林 順和 松本 嘉彦 廣田 憲徳 野村 勝人 松田 元栄 畑中 章男	◎ 伊東由起恵 ○ 木戸屋八代実 廣瀬 浩司 ダニエル益資 堀田 昭一 高田 育昌 永田 正幸 榮 正夫

令和3年度各会計予算決まる

歳出(目的別)



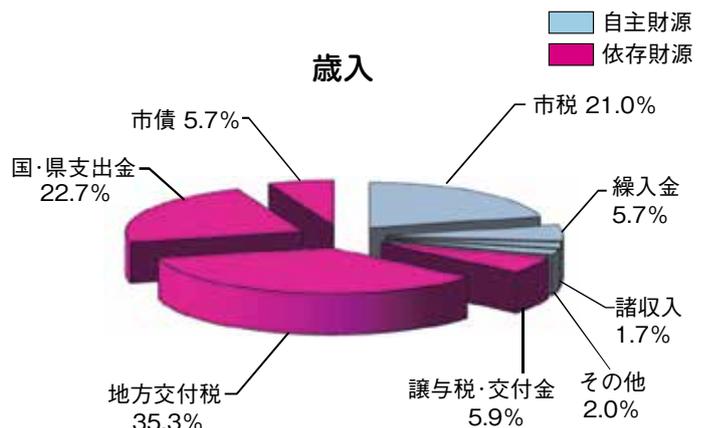
令和3年度は、第六次大野市総合計画の初年度となり、将来像「人がつながり地域が つながる 住み続けたい結のまち」の実現のためまちづくりの目標となる六つの基本目標に向かい各種施策をスタートさせる年である。

「大野市高速交通アクションプログラム」「健康のまちづくり」「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の三つの重点プロジェクトのバージョンアップと、ポストコロナ時代を見据え、行政のデジタル化など新たな日常の実現に向けた施策を進める。

会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	168億7465万円	△5.0
特別会計	82億9829万円	△0.1
企業会計	22億4197万円	△4.7
総計	274億1491万円	△3.6

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など6会計の合計額 企業会計は水道事業、下水道事業、簡易水道事業の3会計の合計額

歳入



1 こども分野
未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち

- 地域子育て支援センター管理運営経費 956万円
管理運営経費、保育士とのリモート相談（拡充）
- 結婚新生活支援事業 1050万円
新婚世帯に対する住居費、引っ越し費用などの補助
- 小学校高度情報化教育推進事業 2035万円
- 中学校高度情報化教育推進事業 340万円
タブレット端末を活用した教育の推進

2 健幸福祉分野
健幸で自分らしく暮らせるまち

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億1775万円
新型コロナウイルスワクチンの接種を実施する経費
- 健康づくり応援事業 3021万円
県外の自治体と連携したヘルスウオーキングプログラムの実施などを行う経費
- 地域安心すまいる事業 1630万円
在宅の要介護高齢者などに対して生活支援・介護予防サービスを提供する経費

3 地域経済分野
歴史・風土と新たな強みを生かした活力あるまち

- 観光誘客等推進事業 3572万円
大手旅行サイトやアニメ等と連携したPRの実施などを行う経費
- 道の駅越前おおの荒島の郷管理運営経費 3288万円
- 企業立地助成金 1億9737万円
新規雇用を創出した企業に対する助成金

4 暮らし環境分野
豊かな自然の中で快適に暮らせるまち

- ゼロカーボン推進事業 500万円
地球温暖化防止の啓発事業を実施
- 除雪車デジタル運行管理システム経費 1340万円
除雪車の運行をデジタル化して運営する経費
- 土砂災害防止推進事業 322万円
砂防見学会の開催などにかかる経費

5 地域づくり分野
みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち

- 来て見て住んで応援事業 745万円
空き家情報バンクへの登録サポート、Uターン希望者に就職活動の交通費などを支援
- 結の故郷地域が輝く交付金事業 1435万円
公民館を拠点とした地域活性化、課題解決、住民交流を進める事業などを支援
- 暮らし住まいづくり支援事業 804万円
移住者や3世代同居・近居世帯の住宅新築や3世代同居世帯の既存住宅リフォームなどに対する補助

6 行政経営分野
結のまちを持続的に支える自治体経営

- デジタル政策推進事業 953万円
業務の効率化やペーパーレス化に向けた取り組みを民間企業の協力を得て実施
- サステナブルシティ推進事業 515万円
第六次大野市総合計画等の進捗管理、SDGsの取り組みの促進、サステナブルシティフォーラム開催
- ワカモノ地域未来探求事業 279万円
市内の高校生が将来の大野市の姿を見据えた施策やSDGsをテーマとした取り組みを立案して発表会を開催

補正予算等の議案

▼令和2年度一般会計予算を1967万円減額（補正予算）

てるみ氏（森政領家）、吉村信夫氏（平澤領家）、竹田善和氏（下麻生嶋）及び宮越與吉氏（橋爪）を任命することに同意しました。

令和2年度の一般会計予算について、各種事業費の確定により1967万円が減額され、予算の累計が230億1140万円となりました。

▼固定資産評価審査委員会委員の選任について
引き続き池端保氏（牛ヶ原）を選任することに同意しました。

大雪による死亡者の遺族に対し、災害弔慰金を支給するため1000万円が増額され、除雪回数が増えたため除雪経費1億円が増額されました。

▼人権擁護委員候補者の推薦について
引き続き萩原勢子氏（泉町）を、また新たに山本則子氏（新町）及び脇本正信氏（稲郷）を推薦することに同意しました。

▼副市長の選任について
南谷憲児氏を副市長に選任することに同意しました。

▼大野市バス運行事業に関する条例の一部を改正
道の駅「越前おおの荒島の郷」開駅に伴い、路線名、運行経路及び運賃について所要の改正が行われました。

▼農業委員会委員の任命について
引き続き田中豊実氏（篠座町）、三嶋香代子氏（国時町）、中村雅美氏（牛ヶ原）及び久保田眞由美氏（貝皿）を、また新たに石田幸男氏（横枕）、松田長太郎氏（右近次郎）、上田

道の駅線や和泉線が、越前大野駅や九頭竜湖駅を始点に道の駅「越前おおの荒島の郷」を経由して運行されることになりました。

令和3年3月第423回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で可決・同意された議案

議案番号	議案名
(2)	令和3年度大野市一般会計予算案の修正案
3	令和3年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案
4	令和3年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案
5	令和3年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案
6	令和3年度大野市介護保険事業特別会計予算案
7	令和3年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案
8	令和3年度大野市水道事業会計予算案
9	令和3年度大野市簡易水道事業会計予算案
10	令和3年度大野市下水道事業会計予算案
11	令和2年度大野市一般会計補正予算（第12号）案
12	令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）案
13	令和2年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第3号）案
14	令和2年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案
15	令和2年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）案
16	令和2年度大野市水道事業会計補正予算（第2号）案
17	令和2年度大野市簡易水道事業会計補正予算（第2号）案
18	令和2年度大野市下水道事業会計補正予算（第2号）案
24	大野市職員の服務の宣誓に関する条例等の一部を改正する条例案
25	大野市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例案
26	大野市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案
27	大野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
28	大野市教育振興基金設置条例の一部を改正する条例案
29	大野市立学校設置条例の一部を改正する条例案
30	大野市幼稚園設置条例の一部を改正する条例案
32	大野市立保育所設置条例等の一部を改正する等の条例案
33	大野市児童デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

市長提出議案

議案番号	議案名
34	大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案
36	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案
37	大野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例案
38	大野市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
41	大野市地下水対策審議会設置条例及び大野市食育推進会議条例の一部を改正する条例案
42	大野市バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例案
43	大野市企業立地促進条例の一部を改正する条例案
44	大野市火災予防条例の一部を改正する条例案
45	大野市合併振興基金設置条例を廃止する条例案
46	不動産の譲与について
47	副市長の選任について
48	農業委員会委員の任命について
49	農業委員会委員の任命について
50	農業委員会委員の任命について
51	農業委員会委員の任命について
52	農業委員会委員の任命について
53	農業委員会委員の任命について
54	農業委員会委員の任命について
55	農業委員会委員の任命について
56	農業委員会委員の任命について
57	農業委員会委員の任命について
58	固定資産評価審査委員会委員の選任について
59	人権擁護委員候補者の推薦について
60	人権擁護委員候補者の推薦について
61	人権擁護委員候補者の推薦について

市長提出議案

市会案

各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣	木	林	ダ	白	伊	松	廣	堀	高	野	梅	永	松	川	高	畑	榮
				瀬	戸	順	ニ	崎	東	田	田	田	田	昭	田	村	林	田	田	端	岡
			結	浩	屋	八	益	貴	由	嘉	憲	昭	昭	勝	厚	正	元	義	和	章	夫
			果	司	代	実	資	之	起	彦	德	一	昌	人	子	幸	榮	秀	行	男	夫
市長提出議案	2	修正部分を除く令和3年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	19	越前大野城設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	20	武家屋敷旧内山家設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	21	武家屋敷旧田村家設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	22	和泉郷土資料館設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	23	笛資料館設置条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	31	大野市スポーツ推進審議会設置条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	35	大野市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
請願	39	大野市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	40	大野市指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	1	高齢者が多く住む街なかの市道認可外の生活道路の除雪に関わる請願書	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	賛
陳情	1	新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	賛	賛	賛	

議長（梅林厚子）は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。
 請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」。

中学校2校、小学校7校に再編する 検討結果に対する市長の受け止めは

子どもたちのことを考え、
ご議論いただいた結論が記載されている



新風会・公明
林 はやし
順和 よりかず
議員



問 大野市小中学校再編計画の見直し指示から2年半余りが経過して検討委員会による結果が示されたが、市長の受け止めは。

答 本年2月に小中学校再編計画検討委員会から教育委員会に、これまでの会議での議論をまとめた報告書が提出された。1年間にわたり本市の子どもたちのことを考え、真摯（しんし）にご議論いただいた結論が記載されているものと受け止めている。

問 重点施策は何か。

答 改訂した大野市人口ビジョンでは、2025年の目標人口を推計人口より400人多い29000人と設定している。この目標達成には、特に若い世代に希望を持って大野に住み続けていただくための施策が必要。安定した雇用の創出、移住者受け入れの環境整備、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策などに取り組む。

問 市街地は本市の顔、地価の下落は止まらない状況であり、地域内経済循環の促進、資金の活発な流れを作る必要がある。

答 本市の経済を牽引（けんいん）する電子デバイス産業は当初、売上が大きく減少したが、自動車産業を中心とした回復により、緩やかに改善していると聞く。市内金融

問 令和3年度予算では市税収入の減額を見込み、財源不足を補う財政調整基金を繰り入れることで歳入を確保している。行財政改革は喫緊の課題であり、待ったなしの状況。

答 令和3年度予算では市税収入の減額を見込み、財源不足を補う財政調整基金を繰り入れることで歳入を確保している。行財政改革は喫緊の課題であり、待ったなしの状況。

問 令和3年度からスタートする水循環基本計画と第三期環境基本計画を一体的に進める方針であり高く評価する。本市の水循環の特長は何か。また、脱炭素社会の実現に向けて森林がもたらす効果を数値化して森林経営に生かしていく予定は。

答 水源涵養（かんよう）機能を発揮する森林地域から水の流下の出口となる勝山市境までの市全域を一つの流域として捉えられる点であり、本市の貴重な地域資源。林野庁による二酸化炭素吸収量推定によると、本市の森林面積7万5825畝で算出した吸収量は年間約19万ト。間伐による森林整備を進め、森林保全とともに二酸化炭素吸収量の増加と多面的機能の向上につながるよう取り組む。



守りたい水循環と森林資源

問 人口が減っていく中、将来のあるべき姿を先に描き、同時に若い世代が定住し続けるための環境整備を官民連携で進めながら、移住者を含めて地域全体で優しく受け入れていかなければならない。令和3年度予算における若い世代に希望の持てる

答 接種を受ける方法は、かかりつけ医による個別接種と公共施設での集団接種の併用を予定。誹謗中傷や不当な差別は絶対にあってはならない。自分のこととして捉え、不



福岡県の東の玄関口 地域づくりの拠点

問 令和3年度予算では市税収入の減額を見込み、財源不足を補う財政調整基金を繰り入れることで歳入を確保している。行財政改革は喫緊の課題であり、待ったなしの状況。

答 令和3年度予算では市税収入の減額を見込み、財源不足を補う財政調整基金を繰り入れることで歳入を確保している。行財政改革は喫緊の課題であり、待ったなしの状況。

代表質問

新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種方法は

臨時接種として16歳以上の対象者に対して接種勧奨を行う



清風会

ながた

まさゆき

議員



代表質問

1. ビスの充実を図る。
問 小中学校再編計画について、現行計画とは。

答 現行計画は、平成29年1月に策定され、令和5年度に中学校を1校、令和8年度に小学校を2校、それぞれ校舎を新築して再編するとしている。平成30年8月から計画見直しに取り組み、中学校2校、小学校7校という検討内容が、小中学校再編計画検討委員会から報告されている。

問 再編後に現行の校舎を使用するところがあるがなぜか。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 福井県ドクターヘリの運行について問う。
答 6月の運航開始に向け、県が主体となり県内の医療機関や消防機関などで調整。消防機関の要請があると、ドクターヘリに医師と看護師が乗り込み、福井県立病院を飛び立って大野市上空まで約6分で到着する。

問 ドクターヘリの運行経費や道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 令和2年度のサトイモの土壌病害の発生状況は。
答 病害のまん延を防ぐため、防除対策として種芋の消毒や、ほ場での予防、治療対策、まん延防止の指導により、平年並みの単収が確保できた。

問 今冬の大雪が農業に与える影響は。
答 ビニールハウスなどの農業用施設への被害は、121棟発生した。経過年数や共済加入状況、再整備するハウスの園芸、水稲の種別ごとで補助率が定められているが、市は、上乘せ補助を考えている。

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 令和2年度のサトイモの土壌病害の発生状況は。
答 病害のまん延を防ぐため、防除対策として種芋の消毒や、ほ場での予防、治療対策、まん延防止の指導により、平年並みの単収が確保できた。

問 今冬の大雪が農業に与える影響は。
答 ビニールハウスなどの農業用施設への被害は、121棟発生した。経過年数や共済加入状況、再整備するハウスの園芸、水稲の種別ごとで補助率が定められているが、市は、上乘せ補助を考えている。

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 令和2年度のサトイモの土壌病害の発生状況は。
答 病害のまん延を防ぐため、防除対策として種芋の消毒や、ほ場での予防、治療対策、まん延防止の指導により、平年並みの単収が確保できた。

問 今冬の大雪が農業に与える影響は。
答 ビニールハウスなどの農業用施設への被害は、121棟発生した。経過年数や共済加入状況、再整備するハウスの園芸、水稲の種別ごとで補助率が定められているが、市は、上乘せ補助を考えている。

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種方法は。
答 臨時接種として16歳以上の対象者に接種勧奨を行い、市内の医療機関での個別接種を予定。集団接種は、結とびあ、下庄公民館、富田公民館、B&G海洋センターを想定。

問 マイナンバーカードの目的は。
答 マイナンバー制度は、複数の機関が保有する個人の情報を社会保障、税、災害対策の分野で効率的に活用する。e-Taxによる税の申告など、オンライン申請の電子証明書となるほか、今後、図書館での本の貸し出し、健康保険証や学生証等との一体化など、利活用シ

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 令和2年度のサトイモの土壌病害の発生状況は。
答 病害のまん延を防ぐため、防除対策として種芋の消毒や、ほ場での予防、治療対策、まん延防止の指導により、平年並みの単収が確保できた。

問 今冬の大雪が農業に与える影響は。
答 ビニールハウスなどの農業用施設への被害は、121棟発生した。経過年数や共済加入状況、再整備するハウスの園芸、水稲の種別ごとで補助率が定められているが、市は、上乘せ補助を考えている。

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 令和2年度のサトイモの土壌病害の発生状況は。
答 病害のまん延を防ぐため、防除対策として種芋の消毒や、ほ場での予防、治療対策、まん延防止の指導により、平年並みの単収が確保できた。

問 今冬の大雪が農業に与える影響は。
答 ビニールハウスなどの農業用施設への被害は、121棟発生した。経過年数や共済加入状況、再整備するハウスの園芸、水稲の種別ごとで補助率が定められているが、市は、上乘せ補助を考えている。

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

ル技術導入を行うもの。農業者のほ場データ管理システムやドローンなどの導入に対し支援する。県農業共済組合が、衛星利用測位システム基地局をまちなか交流センターに整備した。林業では、九頭竜森林組合がドローンで樹木の本数や材木量の把握などを行う。

問 令和2年度のサトイモの土壌病害の発生状況は。
答 病害のまん延を防ぐため、防除対策として種芋の消毒や、ほ場での予防、治療対策、まん延防止の指導により、平年並みの単収が確保できた。

問 今冬の大雪が農業に与える影響は。
答 ビニールハウスなどの農業用施設への被害は、121棟発生した。経過年数や共済加入状況、再整備するハウスの園芸、水稲の種別ごとで補助率が定められているが、市は、上乘せ補助を考えている。

問 道の駅「越前おおの」の防犯道の防犯認定とは。
答 県の事業のため本市の費用負担は発生しない。防災道の駅は、大規模な災害時に広域的に防災関係機関が集結し活動する拠点となる。

問 職員の不祥事に対する取り組みは。
答 各所属部長を通じ、職員倫理規程の遵守などを指示し、専門講師を招き、職員にコンプライアンス研修を行った。工事請負契約に係る事務手続き見直しを進める。高い倫理観を持ち、時代の変化や課題に的確に対応できる職員の育成に努める。組織力の向上を図る。

問 ICT、AIなどスマート農業、林業とは。
答 スマート農業は、労働力不足に対応し、AIやIoTなどのデジタ

道の駅「越前おおの 荒島の郷」の準備状況は

建築工事は既に全工程終了 4月2日、6日に売り場での出荷、陳列練習会を予定



新風会・公明

ひろせ 浩司
議員



問 道の駅「越前おおの 荒島の郷」の準備状況は。
答 建築工事は既に全工程を終え、4月2日及び6日には実際の売り場において出荷、陳列練習会が予定されている。
問 体験メニューの造成については。
答 大野市版じゃらん「おおの体験ブック」を発行し、道の駅にも配置する予定。これには、体験メニューを自然、食、創作、学ぶ、癒しの五つのジャンルに分け22事業者、32体験を掲載する。
問 ジャパンエコトラックへの認定については。
答 認定登録に向け、令和2年度はルートマップの制作やレンタサイクルの準備に取り組んでいる。ルートマップには、道の駅をスタートし、九頭竜川沿いを三国港まで走るルートなど五つのサイクルリングルートを掲載する。

また、開駅に合わせてレンタルサイクルの貸し出しをスタートする。貸し出しスポットは、道の駅「越前おおの 荒島の郷」、城下町東広場、勝山市道の駅、永平寺町のえい坊館の計5カ所。レンタル自転車は、貸し出しスポット5カ所のどこでも返却が可能で、料金は半日2000円、1日2500円で、貸し出しスポットのどこかで乗り捨てをする場合は2100円の追加。ジャパンエコトラックへは、令和3年4月の登録を目指しており、これにより公式サイトへの掲載、全国128店舗のモンベルショップでルートマップが配置され、道の駅「越前おおの 荒島の郷」を福井県のアウトドア拠点として全国にPRできる。

大野市の目指す「持続可能な農業の姿」とはどんな姿か

意欲のある、農業の多様な担い手による 越前おおの型農業を推進する



未来おおの

まつた 元栄
議員



問 日本は2050年までに温室効果ガス排出ゼロとするカーボンニュートラルを宣言した。農林水産業のCO₂ゼロエミッション実現のため、化学農薬と化学肥料を削減し有機農業の面積拡大をすすとしているが、大野市の目指す持続可能な農業の姿と活力ある農村をどのように実現していくのか。
答 本市が持つ豊かな農地や自然環境などのさまざまな資源と、それらを生かした育まれた農林水産物を、多様な担い手が助け合い、支え合い、思いやりで守り育てながら進める、越前おおの型農業を推進する。
急速に進展するデジタル技術の活用やスマート農業の促進、新規就農者や農業後継者の確保と育成に向けた受入体制をつくる。認定農業者や集落

営農法人を地域農業の中核とし、女性や若年層、高齢者など経営規模の大小にかかわらず、意欲ある農業者を農業の担い手として位置付ける。

農山村で副業、兼業などの多様なライフスタイルと、農業と他の仕事を組み合わせた働き方である半農半Xや、週末や休日を農山村で暮らす二地域居住を実践する方が増えると考えます。

問 生物の多様性や環境調和型農業をどのように推進していくか。
答 環境調和型農業で生産された付加価値の高いコメやサトイモなどの農産物の販路拡大を「越前おおの農林楽舎」で積極的に取り組んでいるが、これからも安定的な農業経営が重要であり、関係機関・団体と連携を図りながら取り組む。

一般質問

大雪時の市の事務事業への影響は



新風会・公明
しらさき たかゆき
白崎 貴之 議員



窓口業務、市民対応や相談業務などについては遅滞なく実施できた

- 問** 大雪時の市の事務事業への影響は。
- 答** 市内の道路状況が万全でない事態となり、安全を優先する観点で、およそ1週間、ごみの収集業務の停止や市内路線バスの運休、また学校の臨時休業措置を取ったが、窓口業務、市民対応や相談業務などについては滞ることなく実施できた。
- 問** 成人式が延期となったが、判断までの経過は。
- 答** 実行委員会も着々と準備を整え、前日の9日朝からリハーサルを行っていたことなどから、開催したいとの思いはあったが、降雪状況や交通状況を踏まえ、やむなく延期を決定した。
- 問** 大雪時の救急車の出場状況と影響は。
- 答** 1月8日からの4日間で救急出場件数は38件で、このうち9件が雪害によるもの。道路幅が狭いことや夜間は除雪できない場合があり、現場近くまで進入できないなどの事案があった。
- 問** 共助としての自主防災組織の活動を活性化させるための支援が必要ではないか。
- 答** 自主防災組織の強化のため、自主防災組織活動補助では防災士との連携を図る。防災資機材等の購入では自主防災組織と企業が連携した避難所運営に新たに支援を行っていく。
- 問** 福井市では、市長が要請をして市道等の除排雪を自治会等が行った際に協力を交付している。大野市でも同様な制度を採用できないか。
- 答** 市道のどうしても入れないという所で、地元防災組織が除雪をしたということがあるように、今後検討していきたい。

一般質問

行財政改革は本当に進んでいるのか



双葉会
たかおか かずゆき
高岡 和行 議員



自主財源の確保に努めたい

- 問** 市長の政治姿勢について問う。市長就任後、この間の職員の公金横領、無断押印、収賄にて逮捕起訴・有罪判決・懲戒免職、副市長が飲酒運転事故で解職、これらの一連の事件をどのように考えるか。
- 答** 市民の市政に対する信頼を揺るがすことになったことは遺憾である。一つ一つを積み重ね市民の信頼を取り戻していく。
- 問** 働き方改革、男女共同参画、同一労働、同一賃金をうたっているが、大野市における女性の管理職登用をどう考えるか。
- 答** 能力、経験を持つ人材を積極的に管理職に登用したい。令和2年度は、管理職32人中、女性は5人だが、令和12年度には女性の比率を20割にした。
- 問** 私は職員の昇進の年功序列に疑問を感じているが、どう思うか。
- 答** たいがいの自治体では、入った年次からポジションを変わりながら年次が来ると管理職に上がる仕組みになっている。
- 問** 自主財源はずっと右肩下がり、依存財源は右肩上がりだが、本当に行財政改革が進んでいるのか。
- 答** 依存財源に頼らないよう自主財源の確保に努めたい。
- 問** 不登校児童、問題行動児童、障がいのある児童らが学校再編によって、さらに学校に行きたくないということにならないよう注意されたい。
- 答** 誠心誠意、丁寧に対応させていただく。
- 問** 教員のわいせつということに関してどう考えるか。
- 答** わいせつ、セクハラは教員として許されることではなく、議論の余地はないと考える。

市職員の意識改革、組織改革のために どのようにするのか



未来おのの

木戸屋八代実 議員



研修、第三者委員会での審議、決裁規程の見直しなどを行う

- 問** 市職員の不祥事が続いている。市職員の根本的な意識改革、組織改革を本気で行うために、これまでどのような手法でをとっているのか。今後、どのようなことに力を入れていくのか。
- 答** 収賄事件の発生要因、再発防止策などを審議する機関として、第三者委員会を設置した。市職員にはコンプライアンス研修を開催した。職員倫理規程の解釈を整理し、定期的な研修を通じて職員に徹底することや、工事請負契約にかかる事務手続きと決裁規程の見直しなども進めている。
- 問** 職員の意識改革では、話を聞く以外の手だてはとっていないのか。
- 答** 通知を出したり、人事評価の中で育成面接をしている。毎日、機会を捉え徹底を図っている。
- 問** 第三者委員会の議事録等を公開するのか。
- 答** 各会議終了後、概要をホームページ等に掲載している。
- 問** 教育長の所信表明に「大野らしさが生きる教育」とあるが、教育委員会が考える「大野らしさが生きる教育」とは、どのような教育なのか。
- 答** 本市の人口規模、立地条件、人情の厚さ、自然の豊かさ、歴史の深さなどの長所を十分に生かすとともに、国際化社会や情報化社会の進展など、変化の大きい社会に対応できる人を育てる教育を推進する。小学校期は可能な限り地域の暖かい見守りの中で、愛され大切にされている安心感を育てる。中学校期はより広く市全体で育て、生きる力と社会性を育む。

今後の地方創生、人口減少対策の方針を伺う



無党派

松本 嘉彦 議員



人がつながり地域がつながる 住み続けたい 結のまちを目指す

- 問** 本市は、どのような方針で地方創生、人口減少対策を進めてきたか。
- 答** 平成27年に大野市総合戦略を策定し、「雇用の創出」「新しいひとの流れの創出」「結婚・出産・子育て支援」「地域づくり」の四つの柱を中心に総合的に取り組んできた。
- 問** それらを実施してきた評価と、それを踏まえた今後の方針を伺う。
- 答** 今後の課題として、雇用の創出では、道の駅を活用した地域活性化や産業団地への企業誘致など。新しいひとの流れの創出では、都市部在住者に本市への移住に関心を持ってもらうことや空き家の活用など。結婚・出産・子育て支援では、妊娠期からの切れ目のない支援体制や多様なニーズに対応できる子育て支援の提供など。地域づくり
- では、公民館を核とした地域づくりや次世代継承、健康づくりへの支援、ごみの減量や脱プラスチックに対する意識の醸成など。これらを踏まえ、第二期総合戦略では、「地域経済を活性化し、安定した雇用を創出する」「新しいひとの流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代に合った活力ある地域をつくり、地域と地域を連携する」という四つの方向性を挙げています。新年度は、三つの重点プロジェクトと五つのパッケージを取りまとめ、各事業の展開を通して第六次大野市総合計画前期基本計画と第二期大野市総合戦略を一体的に推進し、「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」の実現を目指していく。

一般質問

歩道の除雪を通学前に行くことを求める



業者には通学前に除雪するよう指導している

日本共産党大野市議員団
のむら まさと
野村 勝人 議員



問 通学時に歩道の除雪がされておらず児童・生徒が車道歩いている。通学前の除雪を求める。

答 業者には通学前に歩道の除雪をするよう指導している。積雪量が多い場合、車道の除雪で歩道に雪が乗ってしまうことがある。子どもたちが車道を通ることがある。幅員を確保し安全に通学できる配慮を今後もしていきたい。

問 屋根の雪下ろし中に転落する事故防止対策として、屋根に命綱を固定するアンカー設置の費用に助成金を出してはどうか。また、その費用を県にも求められたい。

答 勾配屋根の尾根の妻面から支柱を立てて、ワイヤーをつけ命綱を掛ける方法が県内の建築物の構造でできるのか。また構造体に固定されないと

支柱が倒れて危険になるということもあり補助についてはまだ検討していない。構造的なことについては県と研究をしていきたい。

問 福井市のように、各行政区などに小型除雪機を配置する費用を補助することを求める。

答 そのような例も見ながら検討していきたい。

問 除雪車のオペレーターが少ないと聞いている。作業系の免許・資格を取るのに助成を求める。

答 他市の事例も鑑みて検討していきたい。



大雪での除雪

一般質問

地域が公共性を育て大切にしてきたのでは



日本共産党大野市議員団
のさかい まさお
榮 正夫 議員



事務事業を整理する中で、公平性を重視した

問 公共性の在り方が、「人がつながり地域がつながり、住み続けたい結のまち、大野市」を実現して行く重要なキーワードである。防犯灯の管理を和泉地区に移管することについて、集落内の住民には理解されていないと聞かす。

答 市内の防犯灯設置数は本年2月末現在6078基あり、そのうち各集落の通学路などに防犯上必要な箇所に設置され、各集落が管理している防犯灯は全体の84・5割、5136基ある。また、集落と集落の間で電灯等がない通学路で、市が設置して管理している防犯灯は942基あり、大野地域に729基、和泉地区に213基ある。このうち和泉地区の防犯灯は、合併までは旧和泉村で管理していたことから、合

併後も集落内の防犯灯も含めて市が管理してきた。合併後10年が経過した平成26年から事務事業を整理する中で、防犯灯は、大野地域の各集落との公平性を保つため、和泉地区の各集落へ移管する話し合いを和泉地区区長会とさせていただき、令和3年4月から移管することになった。

問 防犯灯の管理に地域2分の1、市2分の1を負担することは公共性に對する負担でないか。

答 そのような経過から、大野地域の防犯灯・街灯は設置されてきた。

問 和泉地区内のある集落では、白山電力との契約が存在しているとのこと。

答 限られた権利者、当事者の間での契約という話は聞いている。

話

中部縦貫自動車道大野油阪道路の事業費は、令和6年度中には予算がほぼ充足されるのでは

北陸新幹線敦賀開業と同時期を目指し、要望していく



清風会

ひろた

憲徳

議員



問 中部縦貫自動車道大野油坂道路の事業費について当初予算303億円から339億円を基にすれば、令和6年度中には予算がほぼ充足されるのでは。

答 北陸新幹線敦賀開業と同時期を目指して、目標を設けこれからも皆さまと共に熱意を届け続けたいかなければならないと感じており、一日も早くという思いで要望していく。

問 令和3年度には全ての分譲が開始される富田産業団地の企業誘致に対する県との連携について聞きたい。

答 福井県において、中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線福井敦賀開業を見据え、本年9月をめどに企業誘致やUIターン就職の案内拠点となる名古屋事務所を設置することから、連携

を密にし、誘致活動を進めていく。

さらに都市圏で県知事がトップセールスマンとして開催している福井県立地セミナーやオンラインを活用したセミナーに参加したり、県と合同による企業訪問を実施したりするなど、県と一体となり誘致活動を進めていく。

問 小中学校再編に伴い地域コミュニティの拠点として公民館機能を強化すると幾度となく説明を受けてきたが具体的に何を強化するのか。

答 公民館職員は、地域づくりの主軸を置き、高齢者の地域生活を支える生活支援体制整備事業や伝統文化の継承に関わるなど地域活動を支援し、公民館が子どもから高齢者まであらゆる世代が集う地域コミュニティの拠点となるよう努めています。

大野市日中友好協会に市税を使うことは道義的に正当化されるのか

外国の方々向けの取り組みを幅広く展開することは意義がある



無会派

だに

ダニエル

議員



問 今年に入り、中華人民共和国（中国）国内の人権状況が劣悪であると報道が、今も世界中のメディアによってなされている。石山市長は大野市日中友好協会の会長を務めているようだが、このような国際状況の中で、市税を使ってまで日中友好を進めることが道義的に正当化されるのか見解を聞きたい。

答 大野市日中友好協会の設置目的である、日本とアジア及び世界の平和と繁栄に貢献すること、照らし、中国の方々のみに限らず、本市に居住する諸外国の方々向けの取り組みを幅広く展開することは意義あるものと考えている。

問 大野市でも、外国人住民に対する無償、または低価格で受けられる日

本語レッスンや外国人住民と交流できるイベントを開催してはどうか。

答 大野市日中友好協会等、交流イベントに精通している団体が実施することが効果的であることから、市独自でイベントを開催することは考えていない。その上で、県内他市町の取り組みも参考にしながら、民間主導の国際交流を効果的に支援していきたい。

問 昨年12月の未就学児を対象にした英語交流活動が大変評判が良かったため、本年度も継続して行っているかどうか。

答 今回の企画は参加した親子にとって楽しいイベントになった。今後はクリスマスに限らず、季節の行事として取り入れながら継続していきたい。

一般質問

土日、祝日のワクチン接種については どのような対応とするのか



新風会・公明

伊東由起恵 議員



一般質問

64歳以下の一般の方への集団接種の実施を検討している

- 問** 土日、祝日のワクチン接種についてはどのような対応とするのか。
- 答** 土日、祝日については、仕事などで平日に接種できない方のために、64歳以下の一般の方への集団接種の実施を検討している。
- 問** 障がい者や在宅介護者など、接種会場まで行くことが困難な方への対応は。
- 答** まずはかかりつけ医や嘱託医などに相談いただき、対応が難しい場合は市に相談いただきたい。
- 問** 重度障がい者の方の主治医は福井市内が多く、できれば自宅で接種したいとの声もあるが。
- 答** 重度の方はかかりつけ医がいて、往診などしていただいていると思うので、県にも必要であれば要望、相談していく。
- 問** 障がい者の就労支援について、本市の職員採用で、職場出勤が困難な方を対象に在宅での勤務を基本とする採用枠を導入してはどうか。
- 答** 行政事務のデジタル化などを推進することで、職場環境の整備を進め、必要に応じて職員採用の見直しを行う。
- 問** 本市における障がい者就労支援の現状と今後の計画については。
- 答** 障がいがある人の雇用環境の整備が進められているが、一般就労は依然厳しい状況にあるため、今後も職場に適応できるような指導、援助するジョブコーチの利用促進などに取り組む。また、新型コロナウイルス感染症拡大への対応から、都市圏ではテレワークで働く障がい者を全国規模で募集する企業が出てきており、職業安定所など関係機関と連携した支援を検討する。

※代表質問・一般質問のページには、各議員ごとの録画映像（外部サイト You Tubeにより配信）へリンクするQRコードを掲載しています。

★6月市議会定例会の日程のお知らせ★

日程（案）		区分	審議等の内容
5月31日	月	本会議	会議録署名議員の指名、会期の決定、議案上程、提案理由説明
6月7日	月	本会議	一般質問
8日	火	本会議	一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託
9日	水	委員会	10:00 産経環境常任委員会
10日	木	委員会	10:00 教育民生常任委員会
11日	金	委員会	10:00 総務生活常任委員会
14日	月	委員会	10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会
17日	木	本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

※日程は予定のため変更になる場合があります。

※本会議の開会はいずれも午前10時を予定していますが、遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

☎0779-64-4830



▽産経建設

(松田委員長、伊東副委員長
白崎、松本、川端、畑中)

特産作物のブランド力強化をはじめとする本市の農業について

◎委員から

福井県内のソバの中で、大野在来ソバの評価は高い。イベント開催だけでなく、さらなるPR方策を検討してもらいたい。

◎理事者から

大野在来ソバについて



ソバ畑と荒島岳

は、民間事業者のキャンペーンの実施を支援する事業を活用したり、関係団体との連携を図り、大野のソバをしつかり振興し、広くブランド力を高めていく。

◎委員から

また、サトイモに関しては、新年度から栽培に使用される、生分解性マルチの購入費用の補助を開始し、環境に優しいことや、生産コストと労力の抑制を図ることで、サトイモの生産拡大につなげる。また道の駅という新たな販路を活用し、利益率の向上につなげていきたい。

◎理事者から

消費者に選んでもらえるように、福井県特別栽培農産物としての認証や環境調和型農業など、環境といったメッセージを付加し、他の産地との差別化を図る必要がある。

◎委員から

市として農家所得を下げないことが第一である。

今後、転作率が増え、コストの価格が下がることが予測されるので、国や県と共に、園芸作物生産へのシフトに対する支援を行い、農家の所得の向上につなげたい。

道路や橋りょうなどのインフラ資産の維持管理について

◎委員から

道路や橋りょうの維持管理にかかる経費が膨れ上がっているが、公共施設等総合管理計画に基づいたものとなっているのか。

◎理事者から

昨年度は消雪施設と橋りょうの長寿命化計画を策定し、本年度は道路舗装や歩道、街路樹等の長寿命化計画を策定した。今後は個別施設計画に基づき維持管理していく。

◎委員から

また、今までは施設の維持管理とともに、新たな施設の整備を行ってきたが、今後は、予算を整備費から維持管理費へ配分していくことになる。一般財源を縮減させるために、交付税措置のある公

共施設等適正管理推進事業債を活用していく。

中部縦貫自動車道の全線開通に向けた機運醸成について

◎理事者から

荒島第一トンネルの掘削工事で採取した安山岩と、県立奥越特別支援学校の生徒たちが手織りした布袋を使い、安産祈願のお守りを作り、出産を迎える市民へ配布した。

◎委員から

また同じトンネルの貫通石を使った合格祈願お守りを作成し、市内の中学生278人に贈った。



富田産業団地

道路構造物の完成だけでなく、お守りを作り、配布するなどの取り組みを一人でも多くの市民に関わってもらおうことが、全線開通に向けた機運の醸成につながるので、継続して取り組んでもらいたい。

大野市富田産業団地の分譲と企業誘致について

◎理事者から

新年度から全区画12分の分譲を開始する。本市ゆかりの企業や個人へ情報提供を行い、県などと連携して誘致活動を進めていく。

◎委員から

本年9月に設置予定の県の名古屋事務所とも連携を密にして誘致活動を進め、5年以内の分譲に向け取り組んでもらいたい。

▽民生環境

(廣田委員長、廣瀬副委員長
木戸屋、堀田、高田、野村)

健康づくり応援事業について

◎理事者の説明

ヘルスウォーキングプログラム事業を拡大し、京都府の南丹市、兵庫県の西脇市、岩手県の高田町との四市町の『飛び地連携』により、健康づくりの事業を進めていくもので、医療費の削減を最終目標としている。

◎委員の意見

医療費や介護保険事業の増加傾向に歯止めをかけるためにも、健康づくり事業にさらに力を注がりたい。



第三期環境基本計画について

◎委員の意見

計画策定をゴールとせず、市民への周知、啓発に注力されたい。

◎理事者の説明

市民レベルでの取り組みが成果に結び付いていくと考えている。あらゆる手段で市民に浸透するように推進していく。

◎委員の意見

環境に対する市民の意識の底上げを図ることは、汚水処理の推進や、ごみのポイ捨て防止などに直接つながるため、計画に基づいた啓発に努められたい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

◎理事者の説明

ワクチン接種は、4月中には、高齢者施設の入所者及び従事者を行う予定であり、5月以降に、ワクチンの供給時期や供給量が決まり次第、高齢者の集団接種の予約受け付けを行う予定。

◎委員の意見

市民の不安を払拭（ふっしょく）するために、今後も国の情報をいち早く捉えて、最新の情報を市民へ迅速に周知できるように努められたい。



新型コロナウイルスワクチン(イメージ)

結婚新生活支援事業について

◎理事者の説明

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに入籍した夫婦を対象に、賃貸住宅の家賃、結婚に伴う引っ越しに係る経費等を補助する新規事業である。

◎委員の意見

国や県と連携してよりよい事業展開を行われたい。

子ども・子育て関連事業について

◎委員の意見

4月から、福祉子ども課の所管事業が、「福祉課」と「子ども支援課」の所管に分割されるが運営への支障はないのか。またワンストップサービスに対応できるのか。

「小学校入学時のギャップ」などの解消を図るとともに、部局の連携を図り、子育て支援策のPRにも努められたい。

◎理事者の説明

運営に支障はなく、子どもに関する教育と福祉の支援が一つの部で連携できるというメリットがある。

市民には、これまでと変わらないワンストップサービスを提供していく。



令和3年度大野ですくすく子育て支援パッケージ

総務文教

(高岡委員長、榮副委員長、林、ダニエル、梅林、永田)

民俗資料館整備事業について

◎議案第2号令和3年度大野市一般会計予算案に対する修正案を可決

委員から事業費全額の5135万円を削除する形で修正すべきとの意見が出され、その修正について採決したところ全会一致で可決。

◎修正案の提案理由

この事業は、現在、柳廻社内に建っている大野



大野市民俗資料館



旧大野簡易裁判所

◎委員の意見

「協議が中断している状況で、今、拙速に採決して敷地所有者との協議に影響が及ぶのではないか」との意見や、「敷地所有者との協議ができていない中で、強引に進める手法は認められない」、「民俗資料館の元の建物は文化的な価値のあることや、移築が必要であることをしっかりと示すべきである」などの意見が出された。

民俗資料館を旧大野簡易裁判所跡地へ移転・整備するもの。

当委員会としては、現民俗資料館敷地所有者との協議を引き続き誠意をもって行われること、経費を最大限削減すること、市民への事業内容の周知についても市政に関心を持ってもらうことを念頭に置いて行うことを求めている。

これまでに旧簡易裁判所跡地の取得と、その建物の解体工事に係る実施設計業務を終えているものの、敷地所有者との協議は交渉を担ってきた副市長の解職により中断しているとのことである。敷地所有者の承諾をい

「和泉地域交流センター」では、地域づくりの核として行政との協働が図られ、地域コミュニティの先進的な取り組みが展開されることを期待するとともに、和泉地域の住民の憩いの場としても幅広く活用いただけるよう努められたい」などの意見が出された。

◎委員の意見

和泉地域交流センターについて

「和泉地域交流センター」では、地域づくりの核として行政との協働が図られ、地域コミュニティの先進的な取り組みが展開されることを期待するとともに、和泉地域の住民の憩いの場としても幅広く活用いただけるよう努められたい」などの意見が出された。

特別委員会報告

▼人口減少対策

(伊東委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、ダニエル、堀田、高田、永田、榮)

戦略的な人口減少対策について

◎委員の意見

国や県の事業を活用し、移住定住や若者支援に取り組むため、事業の実施要件の縛りを受ける。統合的な視点が不十分である。任期を終え、本市に定住する地域おこし協力隊の意見を十分に生かし、戦略的に施策を立案してもらいたい。

◎理事者の説明

統括的な業務を担える人材の応募があれば、積極的に活用していきたい。

◎委員の意見

人口減少対策の突破口が見い出せるよう、国や県との連携を図りつつ、既成概念にとらわれることなく、新たな感覚で、先駆的な事業に取り組んでもらいたい。

子育て支援の情報発信について

◎理事者の説明

子育て支援施設を取りまとめた、『大野ですくすく子育て応援パッケージ』を新年度に全戸配布し、さらなる周知を図る。

◎委員の意見

多くの市民や、大野を離れて暮らす大野出身の若者に、大野は子育て支援に重点を置いていることをしっかりと伝えてもらいたい。また、若者世代や子育て世代に向けての情報発信や、大野を離れて暮らす方には、SNSなどを活用するリモート対応が有効である。市の公式LINEの登録者数の増加についても、十分取り組んでもらいたい。

雇用の確保について

◎委員の意見

仕事がなければ、大野市に住み続けることができない。仕事を増やすアイデアが必要である。また、農業や中小企業などで稼ぐことが難しく、過疎や人口減少につながっている。当特別委員会と

しても、理事者と共にどうすべきかを考えていきたい。

◎理事者の説明

富田産業団地への企業誘致を進める。若い人から「大野に就職しても休暇が取得しづらい」との声を聞く。地元企業の働き方改革を推進し、雇用の確保につながる施策を進めていく。同時に、幹線道路の整備を進め、自然豊かな大野で暮らしながら、市外企業で働くといった、ベットタウンとしての取り組みも重要となる。

「空き家の活用」について

◎委員の意見

新年度に空き家を買りたい人と、空き家を買いたい人のマッチングを積極的にやりたいとのことであるが、コロナ禍においては、空き家の下見も難しい状況であるため、動画を活用した、リモートの下見ができるようにしてはどうか。

◎理事者の説明

不動産業者と行政との役割を踏まえつつ、協力

し合いながら進めていきたい。

◎委員の意見

既定の手法にとらわれない、積極的な取り組みを期待したい。

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長、白崎副委員長、林、松本、廣田、野村、松田、畑中)

中部縦貫自動車道の進捗（しんちよく）状況等について

◎理事者の説明

大野インターチェンジでは、令和4年度の開通に向けて、中津川高架橋の橋脚工事が行われており、大野・大野東区間においても、清滝川に架かる清滝橋の橋台工事が、中津川・横枕地係で進められている。

◎委員の意見

他自治体では工事や予算の状況などを掲載した「中部縦貫自動車道、国道一五八号改良通信」が発行されている。本市でも同様に市民の皆さまに随時お知らせされたい。

道の駅「越前おおの 荒島の郷」整備の推進について

当特別委員会では審査に先立ち、4月22日に開駅となる道の駅「越前おおの 荒島の郷」の現状を確認するため、所管調査を実施した。

施設整備は建築工事、設備工事ともに完了し、残る工事も順調に進捗していた。建物内部はこれまで示されたイメージ図どおりの内装となっており、棚やテーブル、椅子などの備品やポスレジシステム、冷凍冷蔵庫などの機器類も搬入され、あとは商品が並ぶのを待つ

◎委員の意見

観光バスの乗務員に対するサービスが、立ち寄るか否かの判断材料として大きく影響すると聞いている。大型観光バスが立ち寄り、大勢の人が来訪することは大きな集客と購買につながるため、荒島の郷のPRとともに乗務員に対するサービスについても考慮されたい。



4月22日にオープンした道の駅



本市の食が楽しめる飲食コーナー



第2回 大野市高校生議会



大野市議会では、市民に開かれた議会を目指して議会の活性化に取り組んでいます。その一環として次代を担う若者に市政や議会への関心を深めてもらうため、昨年引き続き、高校生を対象とした模擬議会「第2回大野市高校生議会」を開催しました。

大野高校と奥越明成高校の2年生、9人が高校生議員として質問席に立ち、市議会議員が答弁を行いました。

高校生議員の感想

● 高校生議会を通じて市の課題と政策を知ることができ、この政策が明るい未来につながっていくと感じました。

● 市の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思いました。貴重な経験をありがとうございました。

学校名	議員名	質問項目	質問事項詳細	答弁者
奥越明成高校(2年)	質問順 1番 斎藤 風花 議員	大野の地元離れについて	<ul style="list-style-type: none"> 大野市として若者の市外流出について、どのように考えているか 若者の市外流出を防ぐために行っている手立てについて教えてもらいたい 商業施設のある市外へのバスや電車のアクセスが不便だという声があるが、大野市の考えを教えてもらいたい 	産経建設 常任委員長 高岡和行議員
	質問順 2番 澤田 真依 議員	少子高齢化と若者が住みやすい街づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> 若者が住みやすい街をつくるために大野市が行っている政策はあるのか。あれば教えてもらいたい 少子高齢化が進んでいる大野で、若い世代が働いて納める税金はどのように若い世代に還元されているのか教えてもらいたい 高齢化の課題は無視できず、将来介護サービスの低下も想定されると思う。市で行っている高齢化対策について教えてもらいたい 介護従事者の不足が考えられるが、介護従事者確保のための取り組みについて教えてもらいたい 	総務文教 常任委員長 高田育昌議員
大野高校(2年)	質問順 3番 小松さくら 議員	荒島の郷について	<ul style="list-style-type: none"> 荒島の郷に出店される店で他県から出店するのはモンベル以外に何かあるのか 大野市の特産品や伝統を生かした物づくり体験をする企画などはあるのか 大野市の活性化のために、どのように荒島の郷をアピールしていくのか 沖縄県の道の駅ではバイナッブルなどを一番のアピールポイントとして売り出しているが、荒島の郷では何を一番の特色とするのか 	産経建設 常任委員長 高岡和行議員
	質問順 4番 富田 優奈 議員	子ども医療費助成制度について	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費助成制度を県内大学進学まで拡大した理由は何か その予算はどのように捻出したのか 	民生環境 常任委員長 永田正幸議員
	質問順 5番 前川 心美 議員	大野市のまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> 学生などの若者に「まいおおのフォトコンテスト」に参加してもらうためにしていることは何か 「まいおおのフォトコンテスト」のテーマに紅葉や花などの自然に関することが多いのはなぜか 	産経建設 常任委員長 高岡和行議員
	質問順 6番 前田 夏奈 議員	まちなか循環バスについて	<ul style="list-style-type: none"> まちなか循環バスに何か力を入れていることはあるのか 運行時間を学生の下校時間と合わせることで学生の利用も増え、学生にとって便利になると思うが、バスの便を増やすこと、時間を変更することは可能か 	産経建設 常任委員長 高岡和行議員
	質問順 7番 利内香未結 議員	文化会館について	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館の工事の間、代わりになる施設はどこか 財政面の不安から工事が進まなかったという新聞記事を見たが、その解決方法を教えてもらいたい 古い文化会館と新しい文化会館の違いは何か どのように利用者を増やそうと考えているのか 	総務文教 常任委員長 高田育昌議員
	質問順 8番 阿古 七海 議員	大野市の高齢者福祉について	<ul style="list-style-type: none"> 大野市における高齢者割合はどれくらいか この秋から高校生の医療費が無料となったが、高齢者にもそのような取り組みがあるのか 	民生環境 常任委員長 永田正幸議員
	質問順 9番 林 心愛 議員	大野市の若年人口の流出対策について	<ul style="list-style-type: none"> 大野市の若年人口流出対策は何かあるのか 	総務文教 常任委員長 高田育昌議員



高校生議員の皆さんと市議会議員

編集後記

4月22日、道の駅「越前おおの 荒島の郷」が華々しくオープンしました。これに合わせて、4月には本市を含む「九頭竜川・荒島岳」エリアが県内で初めて「ジャパネコトラック」に登録されました。ジャパネコトラックとは、トレッキングや自転車などで日本各地の豊かで多様な自然、地域の歴史・文化などを楽しむ旅のスタイル。

今後、道の駅「越前おおの 荒島の郷」を拠点に、本市の雄大な自然、歴史風情の残る町並み、おいしい湧き水などを楽しみに多くの観光客に来ていただけることが期待できます。

市議会としては、これら資源を最大限に活用した地域活性化の取り組みを積極的に提言してまいります。

(座長 川端 義秀)

議会だより編集委員会

- 委員
- 川端 義秀
 - 木戸屋八代実
 - 白崎 貴之
 - 野村 勝人
 - 高岡 和行

※次回は、7月下旬の発行を予定しています。